

授業科目名	子どもの権利	期別	前期	授業形態	講義
担当者名	知名 健太郎定信	単位数	2	開講年次	2

授業科目の概要		
非行等の少年事件、いじめ・体罰などの学校における諸問題、虐待・ひきこもりなど家庭における問題などの現状を把握した上で、子どもの問題についての共通した考え方を身につける。その上で、子どもの権利という視点から法律家等子どものかかわる者の果たすべき役割について、考え、理解を深める。		
到達目標		
1. 少年非行に関して、少年法の理念、少年事件の背景、少年審判手続およびその後の処遇について、体系的に理解した上で、少年の権利を擁護しつつ、更生を図るための弁護士付添人が実施すべき付添人活動を学ぶ。 2. 子どもの権利に関する学校における諸問題、家庭における諸問題について、子どもの権利の視点から考える能力を身につける。 3. 子どもの権利条約をふまえて、子どもの権利を現実の場面にどう反映させるべきかを、理解する。		
成績評価基準および方法		
評価基準は、到達目標の達成による。定期試験は行わず、授業での発言状況、レポートの内容を評価対象とする。おおよその基準としては授業での発言（頻度、内容）を 50 パーセント、レポート等提出物を 50 パーセントの割合で評価する。		
テキストおよび参考文献		
【参考文献】必ず購入する必要があるものではありません。 ① 少年法入門（七訂第二補訂版）（司法協会） ② 少年法実務講義案（三訂補訂版）（司法協会） ③ 非行少年のためにつながろう！少年事件における連携を考える（現代人文社） ④ 子どもの権利ガイドブック（第2版）（明石書店）		
履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）		
子どもの問題がその根底ではつながりがあることなどを意識できるようになってください。 基本的に予習は必要ありません（必要がある場合は、事前に告知します。）。 講義後により、深く学びたい場合には、参考文献などを参照してください。		
授業計画および内容等		
第1回	「子どもの権利」の概要 少年法の理念	本講義の概要（少年非行とその他の子どもの問題）を説明します。 少年事件の理念（成人事件との違い等）を理解してもらいます。
第2回	審判に向けての付添人活動(1)	非行事実と争いが無い事例を前提にしつつ、少年との面会や、環境調整（保護者・雇用主・学校への対応）について、少年の更生に資する付添人活動について、具体的な事例をもとに説明します。
第3回	審判に向けての付添人活動(2)	非行事実と争いがある事例を前提にしつつ、否認事件における付添人活動について、具体的な事例をもとに説明します。
第4回	少年の処遇(1)	少年審判の結果の保護観察、少年院送致など、少年事件のその後について、学びます。 少年院の側から見た少年院における処遇などについて、説明します。

第5回	少年の処遇(2)	少年審判の結果の保護観察、少年院送致など、少年事件のその後について、学びます。 少年院に入所した側の立場から更生に必要なものはなにかを考えます。
第6回	少年法(1)	少年審判の動向、少年審判の対象、手続きの関与者、少年審判の流れなどについて、学びます。
第7回	少年法(2)	捜査段階における少年被疑者の取り扱い、家庭裁判所送致後の少年の身体拘束手続き、審判手続き、審判の種別、不服申立手続、検察官送致された少年被告人の刑事手続きなどを学びます。
第8回	審判後の少年への支援(1)	更生を支えるため、どのような活動が必要かを学びます。 具体的には、就労支援や、少年の更生をささえる活動をしている民間団体の活動に学び、更生のために何が必要かを考えます。
第9回	審判後の少年への支援(2)	更生を支えるため、どのような活動が必要かを学びます。 少年を支える環境の調整や少年の保護者への支援について、説明します。
第10回	児童虐待 児童福祉	児童相談所職員の講演（予定）を通じて、児童虐待に対する諸機関の活動内容や相互連携について学びます。
第11回	児童養護施設	児童養護施設、里親制度などの現状と、そこで生活する子どもたちへの支援について学びます。
第12回	子どもの権利条約	子どもの権利条約の理念、一般原則、重要な条項について、学びます。 また、わが国における子どもの権利の状況が条約に沿ったものであるかを検討します。
第13回	引きこもりへの対応	引きこもりの現状、原因とそれに対する支援、非行と引きこもりの関係などについて考えます。
第14回	学校問題	不登校、体罰、いじめの問題やフリースクールについて考えます。 学校での諸問題と子どもの権利の結びつきについて学びます。
第15回	ディスカッション	受講者各自において、子どもの権利に関するテーマを決めた上で、レポートを作成し、講義において要点を発表した上で、ディスカッションを行います。
関連 URL		
備考欄		
外部団体の方に来ていただき、現場の具体的な話を聞く予定であり、日程調整の関係で、日程が変更になる場合があります。		